

まち、ひと、湯前の元気と魅力を届ける [広報ゆのまえ]

yunomae 11

2016.NOV
Vol.425

誰かを笑顔にする力。

アイデア満載513点が集結
那須良輔風刺漫画大賞

空き家で漫画を学ぶ
村枝賢一・森真理漫画教室

全力プレーで元気はつらつ！
湯前小学校運動会

特集①

木から伝わるもの

特集②

運動会の杉門に込められた思い





森に太陽の光を届かせるために、混み合った木を力を合わせて切り倒すJT社員と緑の少年団員。一緒に作業をすることで会話も生まれている



1本1本の間隔がきれいに空いた森。活動で手入れをしたことで木がのびのび育っている

湯前の森づくりの参加人数と協定総面積
※平成28年10月現在

	参加人数	協定総面積
JTの森	3124人	325.58ha
くれないの森	151人	1.85ha
合計	3275人	327.43ha

にまたがる町有林117.72畝で活動。苗木を植えるだけでなく、草木の成長を妨げる雑草を刈ったり、太陽の光が届くように混み合った枝や木を切ったりするほか、動物の被害を防ぐための柵を作ったりしました。荒れ果てていた町有林は明るい光が入り込む森林になり、一本一本の木がのびのびと成長。特別天然記念物の「ニホンカモシカ」を見かけるなど森が元の姿に戻りつつあります。

活動にはJTの社員だけでなく、その家族からも参加。林業従事者から説明を受け、地元住民らと活動し、ともに汗を流しています。

木工体験やため池でのカヌー体験など地元の自然に触れる体験も行われ、昨秋までの7年間で、JTの森に3124人、くれないの森に151人が参加しています。

JTの森ゆのまえは平成25年に第2期の協定を結び、平成30年まで活動を予定するなど、現在もたくさんの人が湯前の森で交流を続けています。

interview 人や自然のありがたさを実感

「現在、JTの森は全国に8カ所あります。年2回行っている湯前での活動は、ほかの地域と比べ、参加者が多いのが特徴で、毎回250人ほどが参加しています。町や林業を手がける地元企業の皆さんに森の手入れや活動・交流体験の準備などをしてもらい、参加しやすい環境をつくってもらっています。活動はも

ちろん、湯前の皆さんと会話をしたり、地元の農産物を見たりすることで、私たちは自然の恵みを改めて感じることができます。5年間という区切りはありますが、まだまだやれることがあると思います。長年続けてきたからこそその表彰だと思うので、これからも一緒に湯前で活動をしていきたいですね」



JT九州支社熊本支店業務部課長
わたなべ とおる
渡邊 亨さん(55)

特集①

「木」から伝わるもの

湯前町の面積の74^{パーセント}を占める森林。そこでは、森を守るための活動が続けられています。

10月9日、京都府で開かれた「第40回全国育樹祭」で湯前町の「ふれあいの森づくり」活動が、表彰を受賞しました。私たちの町の「森」や「木」がどのようなように人にかかわっているのでしょうか？今回はその一部に迫ります。

人の交流が生まれる森づくり

「ふれあいの森づくり表彰」は、森づくりで農山村と都市部の人たちがふれあっている活動を表彰するもので、(公社)国土緑化推進機構が主催。都道府県ごとに一団体が推薦され、会長賞に4点、理事長賞に9点が選ばれます。湯前町はことし、熊本県から推薦され、会長賞を受賞。

初めての快挙を達成しました。

町は県の「企業と協働の森づくり協定」制度を使って、平成21年に県内初となる日本たばこ産業株式会社(JTI・本社・東京都)と、平成23年には住宅用の建材を手がける株式会社紅中(本社・大阪府)と森づくり協定を締結。現在「JTの森ゆのまえ」「くれないの森ゆのまえ」として町有林の一部で活動をして森を守



表札の裏には高校生がそれぞれメッセージを書いて、思いを届けた。そのメッセージを見た住民は笑顔で高校生にお礼を伝えていた

「一日でも早く元の姿へ」 この木に託した、 復興への願い―。



熊本地震で建てられた仮設住宅は4000戸以上。阿蘇くまもと空港近くのテクノ団地には516棟が建ち、家を失った人たちが元の生活を取り戻すために力を合わせて生活している

んは「復興が進んでいるものだと思っていました。野球の試合で熊本まで向かう途中の景色を眺めていると、まだまだ復興が進んでいない地域がたくさんあることを知りました。一日でも早く復興し、当たり前の生活ができることを願って文字を書きました。私自身、当たり前の生活ができることに感謝したいと思います」と話しました。

届けられた「笑顔」

最大震度7を2回計測した益城町では、最大1万6000人もの人が避難をしました。「阿蘇くまもと空港」近くのテクノ団地には516棟の仮設住宅が建ち、たくさんの人たちが力を合わせて生活しています。

10月19日にテクノ団地で表札の設置式が開かれ、熊本市内にある高校の書道・美術部員がそれぞれ自筆した表札を持参。高校生たちによってみんなの家に表札がかかげられました。参加した住民たちは届けられた表札を見て喜び、笑顔で生徒にお礼を伝えていました。

仮設住宅に「いいいの場」を

熊本地震で、住む家を失った人たちが一時的に入居している仮設住宅。その数は4000戸以上。被災した人は元の生活に戻りたくても戻れない不安や住居スペースの狭さから、ストレスや悩みを抱え込みやすい生活を強いられています。現在、仮設住宅での暮らしを少しでも快適にしようと、共同スペース「みんなの家」が県内各地で建てられています。

「みんなの家」は仮設住宅の中に、気軽に集まることのできる「いいいの場」をつくらうと、建築家の伊藤豊雄さんが発案。熊本県が昭和63年から進める「くまもとアートポリス事業」の一環で、現在、県内12市町村60団地に82棟が建設されています。

東日本大震災や4年前に発生した熊本広域大水害のときにもみんなの家が建てられ、東日本大震災時には本町も家に使う木材を提供。そこに集まった人たちが雑談をしたりお茶を飲んだりすることで、生活の不安やストレスをやわらげる役割を担いました。

みんなの家は大きく分けて二つ。「談話室」(40平方メートル)は、板張りとしたみで段差がなく、大きな窓と縁側があり、ゆったりとした空間に。「集会所」(60平方メートル)は土間とたたみで靴のまま気軽に立ち寄れるようになっています。大きな団地には複数建てられ、入居者から直接意見を聞きながらオリジナルのみんなの家ができます。仮設住宅よりも広々として、建物の間に木のベンチを置くなど、県産の木材をふんだんに使って、くつろげるように工夫。木のぬくもりが感じられる温かな場所になっています。

町の杉板にのせた 高校生の「思い」

町も取り組みに協力し、地元杉で作った表札100枚を寄贈。団地内に置くウッドデッキも後日贈られる予定です。たて100センチ、よこ18センチ、厚さ2.4ミリの表札は県内各地の高校へと届けられ、その表札に高校生が筆で「みんなの家」と書き込みました。

人吉球磨郡市では多良木高



1 みんなの家の表札を書き上げた赤池くん（前左）と高校の仲間たち。赤池くんが一筆一筆思いを込めて丁寧に書き上げ、みんなの思いをのせた表札は御船町の仮設住宅へと届けられる

2 設置式で表札をかけた熊本県立第二高校の生徒。表札がかかった瞬間、住民や関係者は大きな拍手を送った



仮設住宅の団地内に建てられた「みんなの家」。仮設住宅よりも広く、県産の木やたたみを使って、くつろげるようにしている。壁には「ふぁいと益城」とタオルやTシャツに各地からのメッセージ。団地で暮らす人がここで話をしたり、お茶を飲んだりして、談笑するスペースになっている

木から伝わる 「人」のぬくもり―。

木は家の一部となって私たちが
雨や風から守ってくれます。

木はほのかな香りと温かさで
私たちをいやしてくれます。

木は私たちの暮らしとともにあり、
多くの恵みを与えてくれます。

大きな揺れで熊本県内に
深い爪痕を残した地震。

復興への歩みはまだまだ遠く、
元の生活を取り戻すためには
たくさんの方がかかります。

「今、心を一つに」。日本中の人が手を
取り合って、前へと進もうとしています。

「ありがとう。よーできとるー」、
「見ただけで元気になるばい！」。

届けられた表札のメッセージを見た
住民が高校生に伝えた最初の言葉。
高校生の明るさと元気が県内各地に届き、
前へ進む勇気を与えてくれました。

木はそのもののぬくもりだけでなく、
人のぬくもりをも伝えてくれます。
先人は木を育て、守り、私たちに
財産としてつないでくれました。
町の木や森は、私たち一人一人が
木の価値に気づき、だれへ、何のために
使っていくか考えることで
次の世代へとつながっていきます。

特集① 木から伝わるもの（完）――



住民の健康づくりをサポートするための「カロリーマップ」の現地調査が9月29日に行われ、取り組みに協力する熊本大学教育学部生涯スポーツ福祉科の学生15人が町内を回り、コース作りの視察をしました。

子どもから高齢者まで幅広い世代の健康づくりをサポートしようと「湯前町シニア生き活き社会参画のまちづくり協議会」（鶴田正巳会長）が取り組み、公共施設の活性化や健康スポーツなどを手がけるNPO法人「ひとづくりくまもとネット」（中川保敬理事長）と熊大でスポーツを専攻する学生らが協力しています。

カロリーマップは歩いた分のカロリー消費量を示すもの

で、今回は駅前を中心とした「観光ルート」、町役場から小中学校を回る「児童見守り・交流ルート」、湯築里から林道へ抜ける「体力づくり自然散策ルート」の三つを作成。マップにはルートだけでなく、食物カロリーや運動のヒント、インターネットで見ることができる体操のQRコードなども載せられる予定です。

学生たちは三つの班に分かれ、実際に町内を散策。街灯・カーブミラー・看板・飲食店・公民分館など目印になるものの写真を撮ったり、道幅や外灯、坂の勾配などを見たりしながら地図にチェックしてきました。マップは本年度中の完成を予定しています。



interview
あり た だい すけ
有田 大將さん
(熊本大教育学部3年)

「今回のコースは総距離3キロで、短いと思っていましたが、実際に歩いてみると、想像していたよりも長く感じました。考えていたコース上の目印の数にばらつきがあり、分かりやすいところとそうでないところのバランスが悪かったので、コースを少し調整してマップを作っていきたいと思います。回ったところが小・中学校周辺だったので、通学路のパトロールをイメージしました。通学時間に合わせてウォーキングをすることで、運動しながら子どもたちを見守ることができれば良いと思います。マップはぜひ、子どもと接する人に使ってもらいたいですね」



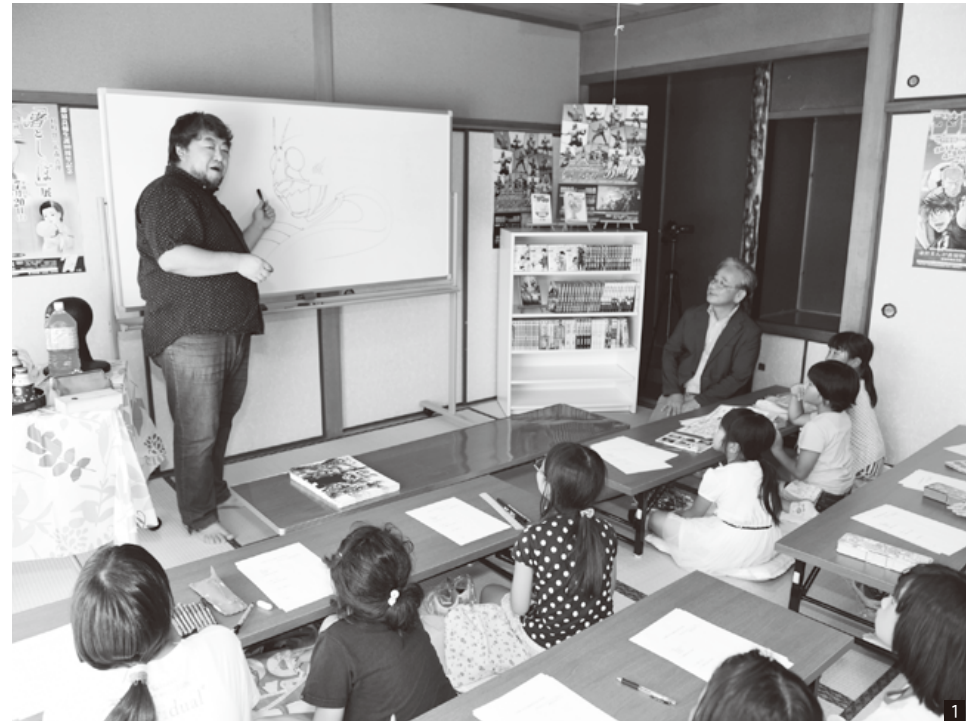
持ち帰った情報を集め、それぞれ理想のコースを話し合った



実際に町内を歩いて、周りの情報を確認する学生たち

No.2

「カロリーマップ」作りで熊大生が町内を調査 カロリー表示で 健康づくりをサポート



1 顔のパーツや向きなどキャラクターの描き方を教える村枝さん 2 仮面ライダーとくまモン。村枝さんのイラスト入りサインもゲット 3 村枝さんのアドバイスを元にキャラクターを描いていく参加者



No.1 空き家を使った漫画教室開催

漫画家、村枝賢一さん& 森真理さんの漫画教室

「新・仮面ライダーSPIRITS」などを手がける漫画家、村枝賢一さんと妻で漫画家の森真理さんの漫画教室が10月1日に下染田区の空き家で開かれ、約30人の参加者が漫画の描き方を学びました。

漫画を活かしたまちづくりを進める本町が、増え続ける空き家を活用して活性化につなげようと開催。町が町内2カ所の空き家を借り上げ、漫画家のアトリエとして開放。下染田区の空き家は村枝さんのアトリエ、中猪区の空き家を漫画「クッキングパパ」の作者、うえやまとちさんのアトリエにしています。2カ所では創作活動のほか、漫画教室、3Dプリンターなどを使ったデジタル工作体験教室が開かれています。

村枝さんは「湯前まんが美術館」で原画展を開催し、「ゆのまえ漫画フェスタ」にゲストとして参加。平成25年にも本町で漫画教室を開催しています。教室では村枝さんが目や鼻などキャラクターの顔を、森さんが4コマ漫画の描き方やコツを指導。4コマ漫画の教室では参加者が秋をテーマに描いています。



ストーリーの大切など、4コマ漫画のコツを教える森さん

1マに、起承転結を意識して漫画を描いていました。

参加した中武獅温くん（湯前小1年）野中田3（仮面ライダー）や4コマ漫画を描くことができて楽しかった。おもしろいと思われるような4コマ漫画をこれから描いてみたい」と話していました。

指導した村枝さんは「今回は空き家を使うことで会議室とは違い、『寺子屋』のように参加者との距離が近い教室ができた。今後は本気で漫画家を目指している県内の若者がこの場所に集まるような教室もできれば」と話していました。



6年生の親子競技では子が親をおんぶして笑顔でゴール



5、6年生全員で力を合わせた組み体操

No.4

湯前小学校運動会

全力プレーで元気を届ける



大玉転がしは白熱の接戦

平成28年度湯前小学校（西浦大蔵校長）の運動会は10月2日、同校で開かれ、児童182人が赤・白二つの団に分かれて、応援合戦やリレーなどの団体種目や個人種目で競い合いました。ことは本村陽さん（同校6年Ⅱ中里1）が団長を務める白団が優勝しました。

西浦校長は「熊本地震で被害のあった地域でも運動会が開催され、たくさんさんの勇気と元気を与えている。湯前小でも、精一杯頑張る姿でたくさんさんの元気や笑顔を届けよう」とあいさつ。赤団の団長を務める佐々木献人くん（同校6年Ⅱ上里3）と白団長の本村さんが「決してあきらめず、みんなで心を一つにして最後まで全力で戦います」と大きな声で宣誓しました。

6年生の親子競技では、児童が親に「いつもご飯を作ってくれてありがとう」「仕事を頑張ってくれてありがとう」など感謝を伝え、二人三脚や風船割り、おんぶをしてゴールを目指しました。応援合戦や5、6年生による組み体操などの演技には、児童の精一杯の頑張りに会場から大きな拍手が送られました。



1 区間賞の走りでチームを引っ張った栗原選手 2 Aチームのエース区間を務めた椎葉選手（ゼッケン7） 3 生徒の応援を受けてたすきをつなぐ3区浜崎選手（左）と4区中華選手（右）



No.3

球磨人吉中体連駅伝大会

女子4位、男子8位でフィニッシュ



最後まであきらめず全員が全力を尽くした（6区中田選手）

平成28年度球磨人吉中体連駅伝大会は10月18日、あさぎり町立あさぎり中学校をスタート、フィニッシュとする

男子6区間・20キロ、女子5区間・12キロのコースで開かれ、湯前中学校女子（久間章弘監督）が4位、男子が8位でフィニッシュしました。

2年前に初優勝、昨年準優勝で県大会に出場した湯前中女子は1区（3キロ）をエース栗原泉選手（同校3年Ⅱ上染田）が2位に14秒差をつける10分46秒のタイムで区間賞を受賞。3区（2キロ）の浜崎郁乃選手（3年Ⅱ上里3）も区間4位と粘りのたすきリレーをみせますが、人吉第二、人吉第一、山江中が徐々にペースを上げ、湯前中はトップの人吉第二と1分38秒差となる46分57秒の4位でフィニッシュ。惜しくも3大会連続の

県大会出場はなりませんでした。

男子は10位でたすきを受け、2区（3キロ）財部薫選手（3年Ⅱ野中田3）が3人抜きをみせるなど、全員が一つでも上の順位を目指して、全力でコースを駆け抜けていました。栗原選手は「この駅伝で初めて区間賞をとったが、悔しいレースになった。ただの『悔しかった駅伝』で終わらせないようにこれからの上生活に活かしたい。次は球磨一周駅伝と郡市対抗女子駅伝で地域に貢献して、さらに全国の舞台でも走れるようになりたい」と話していました。

◆競技結果

〈女子〉※Bチーム除く

- ①人吉第二中 45分19秒
- ②人吉第一中 45分36秒
- ③山江中 46分34秒

〈男子〉

- ④湯前中 46分57秒
※（通過順位）〔区間順位〕
- 1区栗原 泉 （1）〔1〕
- 2区黒木 歩希 （2）〔9〕
- 3区浜崎 郁乃 （2）〔4〕
- 4区中華 美咲 （5）〔8〕
- 5区中田 星来 （5）〔4〕

- ①人吉第二中 1時間07分13秒
- ②錦中 1時間07分20秒
- ③人吉第一中 1時間07分52秒
- ⑧湯前中 1時間11分28秒

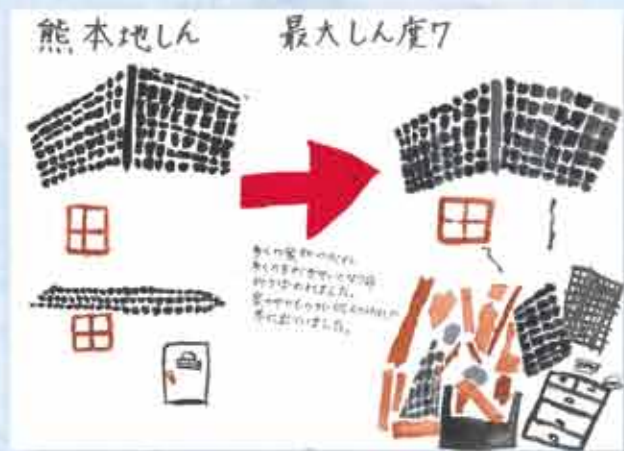
※（通過順位）〔区間順位〕

- 1区椎葉 亮太 （10）〔10〕
- 2区財部 薫 （7）〔5〕
- 3区濱砂 幸太郎 （8）〔8〕
- 4区中田 翔 （8）〔9〕
- 5区久保田大翔 （7）〔10〕
- 6区中田 光 （8）〔8〕
- ⑬湯前中B 1時間16分10秒
（江夏樹李、福田龍之介、右田達也、福屋渉、山崎壮一郎、北崎雄一郎）



〈ジュニア部門(中学生の部)〉 那須良輔大賞「地震よくるな！」 山崎 壮一郎くん (湯前中3年＝上里1)

評価：4月の熊本地震は、熊本県のトップニュース。この漫画は地球を動かなくしてしまえという究極の地震対策。物理学も土木工学も何もかも無視しているところに、逆に「地震よくるな！」の切実さが感じられる。



〈ジュニア部門(小学生の部)〉 湯前町長賞
「最大しん度7 熊本地震」荒川 華穂さん (湯前小5年＝上里1) 「登山ダイエット」 きなみせいじさん (61＝長野県)



真剣な表情でマスコミ賞を選ぶ記者



〈一般部門〉 審査員特別賞

れた「地震よくるな！」は地球を木材で固定して地震を防ぐとする作品。「物理学も土木工学も何もかも無視して地球を動かなくしようとするところに、切実さを感じる」と評価されました。今回、初めて「マスコミ賞」がつくられ、10月14日に湯前町役場で開かれた記者発表では、集まった記者が机に並べられた風刺漫画から一作品を選考しました。表彰式と応募全作品の展示は、11月13日に開催される「ゆのまえ漫画フェスタ」で行われる予定です。

Close up



〈一般部門〉 那須良輔大賞「食事タイム」 青木 喬さん (79＝東京都)

作者談：味気ない、一人っきりの食事を少しでも楽しく……と、いつもロボット掃除機さんにお付き合いをしてもらっています。掃除機さんの食事には、おいしいようなカラフルな色紙を選んでます。

第25回那須良輔風刺漫画大賞の審査会は9月27日、神奈川県鎌倉商工会議所で開かれ、一般部門の那須良輔大賞(賞金50万円)に東京都在住の青木喬さん(79)の「食事タイム」が選ばれました。ジュニア部門の那須良輔大賞(中学生の部)には山崎壮一郎くん(湯前中3年＝上里1)「地震よくるな」の、湯前町長賞(小学生の部)には荒川華穂さん(湯前小5年＝上里1)の「最大しん度7 熊本地震」が選ばれました。審査員は漫画集団に所属し、那須良輔さんとなじみのある漫画家の多田ヒロシさん、前川しんすけさん、二階堂正宏さんらが務め、審査会場には良輔さんの妻・美代さんも出席。ことは一般部門に213点、ジュニア部門に、

300点、総数513点があり、うち40点が入選。北海道から鹿児島、国外はオーストラリアからも応募がありました。ことは「熊本地震」「オリンピック」「ポケモンGO」「高齢化」「スマートフォン」などをテーマにしたものが多く、「毎年レベルが上がっている」と審査員をうならせる作品ぞろい。大賞に選ばれた「食事タイム」は審査員から「一見よく分からないが『それ』に気づくと涙があふれてくるほど感動的な漫画」と高評価。その絵には「奥さんに先立たれた男性が『食事タイム』にわざとゴミをまき、自動掃除機と二人で食事をして寂しさをまぎらわしている」場面が表されていました。ジュニア部門の大賞に選ば

大賞作品に「食事タイム」 ジュニア大賞は山崎壮一郎くん (湯前中3年)

第25回那須良輔風刺漫画大賞

9月24日(土)

城泉寺阿弥陀堂のライトアップイベントが9月24日に行われ、来場者が色とりどりのやさしい光に照らされた城泉寺を見学して楽しんでいました。

イベントは昨年初めて行われ、ことしで2回目。手描きの絵を電気で照らす「絵とろうろ」をお堂の周りや道に置き、普段見ることのできない城泉寺を楽しんでもらおうと湯前町地域おこし協力隊が主催しました。

町内の学童クラブや保育園児が「ゆっくん」やアニメキャラクターなど約300枚の絵を作成。お堂の横ではパソコンで絵を投影する「プロジェクションマッピング」も行われ、歴史あるかやぶき屋根が色あざやかな光で彩られました。会場には子ども連れの家族などたくさんの人が集まり、裏に回ったり、しゃがみ込んでお堂の下を見たりと、ゆっくりと見学していました。

「絵とろうろ」で幻想的な光を楽しむ 城泉寺ライトアップ



絵とろうろなどで幻想的な光に包まれた城泉寺

9月24日(土)～25日(日)

「RVランド九州・キャンプミーティング in 湯前」が9月24、25日にゆのまえグリーンパレス芝生広場一帯で開かれ、県内外からキャンピングカー110台、294人が工作体験や各種イベントを楽しみました。

キャンピングカーショップ経営などを手がける「燗RVランド九州」が主催。周辺施設の利用や交流人口を増やし、各地へ情報を発信しようと町もイベントに協力しています。芝生広場には、ほ乳びんを使った牛乳の早飲み「おっぱい早飲み競争」や「木工教室」「バルーンアート」などの体験コーナーがあり、菰谷ため池ではカヌー教室を開催。夜の部では大道芸や野外ライブなどで盛り上がっていました。2日目には湯前町観光物産協会による特産品の販売、ビンゴゲーム大会などがあり、参加者は笑顔でイベントを楽しんでいました。

110台のキャンピングカーが集結 RVランド九州・キャンプミーティング



ビンゴゲームで景品を選ぶ参加者

10月5日(水)

湯前保育園（東理絵園長）の高齢者生活福祉センター湯愛利用者ととの交流会が10月5日に、同施設で開かれ、年長児15人が楽器の演奏や踊りなどを利用者24人に披露しました。

地元の高齢者と園児が世代をこえて交流を深めるために行われています。交流会では同園の運動会でも取り組んだ鼓笛隊の演奏や踊りを披露しました。

演奏では園児たちが大太鼓や小太鼓、鉄琴、キーボードなど、それぞれ担当の楽器を一生懸命弾き、発表が終わると「よくできました!」と利用者が拍手を送りました。

利用者を代表して川口春雄さん（89）瀬戸口）が「元気あふれる発表をありがとう。楽しい時間だった」と感謝の気持ちを伝えていました。交流を終えた園児と利用者は握手を交わして別れを惜しんでいました。

演奏や踊りで交流深める 湯前保育園児が湯愛で交流会



元気の良い声と踊りで利用者を笑顔にした園児たち

10月13日(木)

人吉球磨の人権擁護委員による特別人権相談が10月13日、高齢者福祉センター湯愛で開かれ、委員7人が会話やレクリエーションで利用者24人の心に寄り添いました。

人権相談を受ける機会が少ない高齢者の人権相談を受け付け、助言をするために行われ、郡市内から委員7人が集結。全員で童謡や手遊びをして交流を深めたあと、人権作文の朗読をしました。3班に分かれ、グループの中に委員が入り、それぞれ利用者と目線を合わせて、寄り添うように話を聞いていました。

湯前町人権擁護委員の平川伊三男さん（69）上里3）は「レクリエーションなど楽しんで参加していただけてよかった。気軽に心配ごとや悩みなどを相談してもらえようとなつなかりをつくっていくことができれば」と話していました。

気軽に相談できるつながりを 人権擁護委員が湯愛で人権相談



目線を合わせ、心に寄り添う委員

10月16日(日)

慈光こども園（藤岡孝史園長）の運動会は10月19日に湯前小学校校体育館で開かれ、園児99人が体操やかけっこなどの競技で保護者らに感動を与えました。

より近くで園児たちの活躍をみてほしいと体育館で開催され、たくさん保護者や住民が来場。藤岡園長は「ここにきてくれた人全員が『来て良かった』と思えるような運動会にしよう」と園児に話しました。

年長児によるかけっこでは予選を勝ち抜いた園児による決勝戦が行われ、藤岡園長が上位4人にメダルを渡しました。同保育園が通年取り組んでいる体操競技では、年長児らが逆立ち歩きや片手側転、跳び箱など見事な体操を披露しました。全力の競技に会場からは大きな拍手が送られ、園児の成長した姿に保護者は感動していました。

感動を会場へ 慈光こども園運動会



会場に大きな感動を与えた園児たち

10月20日(木)

住民みずからが介護予防に取り組もうと、上村区、野中田2区の2地区で「いきいきクラブ」が発足し、10月20日に上村区公民分館で開かれたクラブでは区民30人が楽しく体を動かしていました。

住民主体の「通いの場」をつくり、町内全域で介護予防に取り組もうと町が主催。本年度、モデルとして2地区で取り組み、町社会福祉協議会や上球磨支援包括センターなどが協力。長く健康でいつづけることを目標に毎週1回、公民分館に集まって体操などします。握力や歩くスピードなどを測り、4カ月後に効果を測定。数値として自分の健康状態を知ることができます。

第1回では町職員が介護保険の状況や取り組みを説明。その後、参加者は体操で体を動かし、「汗をかいて良い運動になった」「大人数で楽しくできた」などと感想を話していました。

ご近所一緒に健康づくり 町内2地区で「いきいきクラブ」がスタート



公民分館に集まり体を動かす区民

11月改選『さよなら議会』

住民に託された 4年間を締めくくる

湯前町議会の9月定例会が、9月7日から15日までの会期で開かれました。平成27年度一般会計や特別会計などの決算認定6件、第三セクターの経営状況など報告3件、町固定資産評価審査委員会の選任同意2件などの審議を行い、一般質問では、金子光喜議員と椎葉弘樹議員が執行部の考えを質しました。11月に任期満了になる改選が行われることから、現職議員にとっては「さよなら議会」となりました。

一般質問

金子 光喜 議員

〈選挙権年齢引き下げへの
本町の対応〉

【質問】 参議院議員選挙における、本町の18歳、19歳の投票率の結果についてどう考えているか

【答弁】 白川総務課長

参議院議員選挙における町の投票率は、62.2割。19歳の投票率は33.3割。（有権者12人、投票者4人）で、18歳の投票率は57.1割（有権者28人、投票者16人）。18歳の中で7月10日までに生まれた高校3年生の投票率は21.4割（有権者14人、投票者3人）。若い世代の投票率は、国・県、町でも考えていかなければならない。

【質問】 下宿生の取り扱いについて、自治体で対応の違いがみられることの
本町の見解はどうか

【答弁】 白川総務課長

本町選挙管理委員会では、町外で生活している学生の選挙人名簿の登録について、その実態などを調査した。昭和29年の最高裁の判例において、

て、学生などは、その学生寮などが生活の本拠であるという判例が出ている。本町では、この判例と法令で、生活の本拠の認定を行い、有権者の判断をしている。

【質問】 今後の対応と、投票率
向上の対策は考えているのか

【答弁】 白川総務課長

政治への参加意識と、有権者の主権者意識を訴えるために、各種団体の皆さまに明るい選挙の推進員になつていただき、会議の場だけでなく、その活動の中で呼びかけをお願いしている。期日前投票の事務の簡素化や選挙への親しみやすさなど、工夫しながら投票しやすい環境づくりに取り組んでいきたい。

椎葉 弘樹 議員

〈補助金改革について〉

【質問】 補助金の検証・改善の
方針はどうか

【答弁】 鶴田町長

地方創生に限らず、補助金を出したら、その事業効果はどうなのか、継続するに値するのかなどを、しっかり検証をしないといけない。ご指摘、

いただいたことは、しっかりと精査、協議をしていきたい。

【質問】 補助金情報をガイド
ブックやホームページ
で公表しないのか

【答弁】 鶴田町長

補助金というのは、議員ご指摘のように、より効果的に成果を求めていかなければいけないという部分もある。その使い方や、その後の運用もしっかりとした協議をしなければいけない課題だと受け止めている。

〈小規模事業者の生産性支援〉

【質問】 農林商工業の小規模事
業者へ、生産性向上・
所得向上のための利用
しやすい共通の補助制
度を設ける考えはない
か

【答弁】 鶴田町長

公平性をどう担保するかも、行政の大きな役割なので、そのことを併せ持ちながらしっかりと支援をしていかなければ、地域コミュニティは守っていけない。議員と同様の認識を持っているので、ぜひそういった提言や提案をいただければありがたい。

平成28年度
一般会計補正予算

※主なもの

▼歳出

○町内3地区（永野、辻、大溝）
用水路改修工事費
1億849万7千円

○まんが美術館空調改修工事
関連
700万円

○まんが美術館改修計画策定
支援業務委託料
400万円

○上球磨消防組合負担金
392万6千円

○くま川鉄道経営安定化補助金
327万3千円

○台風12号
災害復旧費（林
道牧良線、町道香川線）
286万4千円

○高齢者見守りシステム関連
改良工事関連
269万9千円

○町道二本柿中央線交差点
改良工事関連
249万8千円

○ゆのまえ温泉湯楽里 泉源
送水ポンプ修繕費
180万円

○熊本地震 復興支援物資加
工等委託料
100万円

※益城町テクノ団地内、

ウッドデッキ木材提供

条例改正

○湯前町職員の退職管理に関する条例の制定

報告・同意

○ゆのまえ湯楽里株式会社の
経営状況
○一般社団法人湯前町農業公
社の経営状況
○湯前町固定資産評価審査委
員会委員の選任

トピックス

湯前町議選の日程決まる

湯前町選挙管理委員会は、湯前町議会議員選挙の日程を11月15日告示、20日投開票とすることに決定しました。前回（平成24年）の町議選は、議員定数を1人減らし10人で実施。最終的に3人オーバーの13人が立候補しました。

選挙公報の発行

湯前町選挙管理委員会は、町議会が提出した「選挙公報の発行に関する要望書」について協議し、「選挙公報」を次の町議選から発行することに決定しました。昭和58年の選挙以降、廃止されていましたが、有権者から「候補者の主張・政策がよく分からない」「だれに投票して良いか分からない」などの声が届けられたことを受け、選挙公報の復活を要望しました。熊本県31町村中、14町村（45.2%）が選挙公報関連の条例を制定しています。

編集後記

湯前町議会では、これまで毎年4回の議会だよりを発行し、その内容を町ホームページに掲載しました。宅内のIP告知放送端末による議会放送にも着手し、議会の透明性を高めました。引き続き、改選後の議員でさらなる情報発信に努めていきます。4年間、議会だよりをご覧いただきありがとうございます。

◆編集委員
椎葉弘樹・金子光喜



4年間を締めくくった10人の議員

湯前の よか★とこ 発見！

～地域おこし協力隊です～

今月のリポーター

いば
射場
えみ
絵美



上里の町観音では、おいしい「おもてなし」が待っていました

33のおもてなし～相良三十三観音めぐり 秋の一斉開帳～

「相良三十三観音めぐり 秋の一斉開帳」が9月19日～25日まで行われました。

春と秋のお彼岸に人吉・球磨にある33カ所の観音堂が一斉に開帳され、たくさんの方がお参りに来ています。めぐる順番は、1番から順にまわってもよし、バラバラにまわってもよし。自分が好きなようにまわることができます。これらの観音像の半分以上は、年2回の一斉開帳のときにしか見ることができません。

湯前には「普門寺観音」「上里の町観音」「宝陀寺観音」の3つの札所があり、9月24・25日の2日間、上里の町観音と宝陀寺の2カ所に公衆無線WI-FIの機械（無料でインターネットを接続できるサービス）を設置しました。

機械をセットして、地区のお母さんたちと一緒に参拝に来た人をおもてなし。来た人のお参りが終わると「お茶飲んで行きなさんですか？どうぞ～」と、とやかに立てられたテントへとお招きします。テントにはお菓子やお母さん手作りのお漬け物や栗の渋皮煮、ちらし寿司などがずらりと並んでいます。当たり前ですが、札所によって置かれている料理が違います。私は上里の町観音へ行きましたが、宝陀寺は「お豆さん」を炊いたものがあり、とてもおいしいと有名です。この地元の味と一緒にお話しを楽しむのが、この三十三観音めぐりの楽しみの一つ。私も参拝に来た人とみんなで楽しくお話させてもらいました。

今も昔も変わらない、身近な伝統。地元ならではの味とお話しを一緒に味わうことができる居心地のいい場所でした。

今月の



おさる画伯こと

大野 慎也さん (37=野中田3) と 恵さん (36)



町内で個展を開いている
慎也さんと妻の恵さん

「笑顔がすてき」「何かPRしたい」などたくさんの人を待っています！（総務課 地域おこし協力隊まで TEL 0966-43-4111）

ひとこと「好きなことを楽しんでやっています。何かに挑戦したい人に湯前町はおすすめです！」

ほかにもゆのまえ情報がいっぱい！くわしくは湯前町総合情報サイト、ゆのまえかじり内の「ゆのまえがおり」へアクセス！



<https://www.yunomae-kaziri.com/>

（ゆのまえかじり と検索してもアクセスできます）

「いいものいっぱい湯前町！」

協力隊のゆのまえ暮らし（隊員がゆる～く近況報告）

めっきり秋らしくなってきた今日のごろ…ことしは台風の当たり年でしょうか。余波で野菜が高騰し、家計を圧迫中。しかし、湯前は生産者が多く、スーパーの産直コーナーに行くと何かしらの野菜が安く手に入ります。

前はスーパーの野菜を買っていましたが、地場産野菜の新鮮さ・おいしさに目覚めてからはよほどじゃないと〇〇県産オクラや、△△県産きゅうりは買いません。取材やふるさと納税お礼品の打合せなど、生産者や事業所の人とお話ししますが、皆さん「うちとこのは！」という信念のもと、価値ある商品を作られていると感じます。

湯前は人口約4,100人、面積48.37km2という小さな町で、交通の便も良い方ではありません。しかし、ふるさと納税として今月までに1,400件近くの寄附が全国から寄せられ、町の規模や立地関係なく、「良いものは良い」と認識されている証だと思います。この自慢すべき町の良いもの・人・出来事などをこれからも発信していきます。（射場）

ちょっと不思議な「片道書簡」



赤崎水曜日郵便局は、熊本県南部の小さな町の海辺にある廃校になった小学校を利用したアートプロジェクトとして開局した。ここへ、自分の水曜日の物語を送ると、知らないだれかの水曜日が届く。「刹那的な信頼関係」によって結ばれる、手紙を通じた一期一会。

赤崎水曜日郵便局
楠本 智郎 (著) 角川マガジンス

稀代の天才が現代の核心をえぐる



「日本人にとって、『道徳』とは何か？」この問いに答えられる、親や教師はいるのだろうか。まず大人たちが、真面目に考えた方がいい。現代日本に一石を投じる、国民的かつ普遍的道徳論。

新しい道徳「いいことをすると気持ちがいい」のはなぜか
北野 武 (著) 幻冬舎

いつでも楽しめる
世界の民話が満載



1話3分ほどで読み聞かせできる、いつでも楽しめるお話が満載。アンデルセンやグリム童話、イソップの話を中心に、ギリシャ神話やアラビアンナイト、さらにアジアやヨーロッパに伝わる各国の民話など、選りすぐった120のお話と、人気の画家たちの挿絵を、オールカラーで収録。

ママ おはなし ききたいな 母と子の読み聞かせ 世界のお話120
内田 伸子 (監修)

引き込まれる
人間ドラマ・ミステリー



整形した殺人犯・山神はどこに？房総の港町で暮らす愛子、東京で広告の仕事をする優馬、沖縄の離島へ引越した泉の前に、それぞれ前歴不詳の男が現れる。

怒り(上)
吉田 修一 (著) 中央公論新社



中央公民館図書室

読書の ススめ

○平日 8:30～17:00
○土日・祭日 9:30～17:00
※貸出期間は2週間で、一人5冊まで。

【お問い合わせ】中央公民館
TEL0966-43-2050

10月のごみ情報

家電品はちゃんとした引き渡しを！

9月末人口
4,102人

先月分
今月分
昨年
9月分

燃えるごみ (kg)

燃えないごみ (kg)

リサイクル品 (kg)

粗大ごみ (kg)

有害ごみ (kg)

63,480
58,610
62,500

−3,890 ↓

3,900
3,330
4,990

−1,660 ↓

16,900
14,100
14,800

−700 ↓

290
180

40
20

家電リサイクル法は、家庭や事務所から出た家電製品をリサイクルすることで、廃棄物を減量し、資源を有効に使うための法律です。

町では次の家電を回収、処分することはできません。

★テレビ ★エアコン ★冷蔵庫・冷凍庫 ★洗濯機・衣類乾燥機

処分の方法

買換え→家電販売店に引き取ってもらう

処分→A.収集運搬業者をお願いする

B.自分で指定引取場所まで運ぶ

※事前に料金の支払方法などを電話で確認してから持ち込んでください。
指定引取場所…榑高木栄商店 人吉市願成寺町1650-1 (TEL22-2514)
※違法な不用品回収会社には出さないようにしてください。無許可業者による不法投棄が問題になっています。

＜家電リサイクルの問い合わせ＞

家電リサイクルセンター 0120-319640
午前9時～午後5時まで（日・祝休）



リサイクルステーションからお願い

※リサイクルは、「きれいなもの」が基本です。白トレイ、缶、ペットボトルは、きれいに洗って乾燥して出してください。
※布団、シーツ、毛布、綿入れ製品はリサイクルできません。指定袋に入る程度に切って燃えるごみで出してください。

※11月の不燃物収集は2、16日です。（第1・3水曜日）
※11月3日（木）祝日の収集はありません。



1 暑い日差しが降り注ぐなか、作業に汗を流す保護者
2 水路に杉の枝をつけて鮮度を保つ 3 保護者と一緒に枝を差し込む6年生 4 わらに枝が刺さるように枝はななめに切っている 5 門の下地にはわらをくくりつける

現場は杉の木に囲まれ、杉の香りがただよう素敵な場所。保護者がナタや枝きりばさみでキレイな葉っぱがついた枝を切り落とし、トラックに積んでいきました。枝をそのまま小学校へ運び、1日目が終わりました。

迫力満点の杉門が完成

杉門にはたくさんのわらを巻きつけます。翌朝は、わらに枝が刺さるように枝の先をななめに切る作業から始まりました。

切った枝は、翌日の運動会まで鮮度を保つため、校庭にある溝につけておきます。最後の全体練習を終えた児童たちが興味津々に溝を見つめていました。午後からは枝をわらに刺す作業。保護者が木の門にわらを巻いていきます。そのとき、6年生が登場。門の下に潜り込み、力いっぱい協力してくれました。

6年生が帰った後も、保護者の作業はまだまだ続きます。わらが見えなくなるまで杉の枝を差し込み、クレーンで杉門を建てますが、うまくいかず、何度もやり直し。やつゝ、

と安定したときには歓声があがりました。建てられた杉門は深みのある濃い緑でとても大きく、どっしりと構える姿は迫力満点でした。

児童の姿を見守る

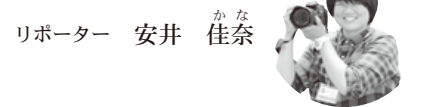
運動会当日。完成した杉門の前に並び、開会式の選手入場で杉門をくぐる児童たち。競技のたびに児童を見送ったり、迎えたりする杉門。近づくと杉の良い香りがして、そこに生えているかのような存在でした。運動会最後の競技5・6年生の組体操。6年生がつないできた思いを受け取る5年生。その姿を杉門は後ろからしっかり見守っていました。

いつか自慢してほしい

運動会が終わると、驚くべき速さで片付けが始まりました。このあと杉門はどうなるのか聞いてみると「すぐに解体するよ」とのこと。完成までの3日間を見てきた私はとても寂しくなりました。クレーンで杉門を倒すと、6年生の保護者たちが一斉に枝とゝ、



運動会で児童全員を見守り続けた杉門



リポーター 安井 かな 佳奈

特集② 地域おこし協力隊リポート

運動会の杉門に込められた思い

皆さんは知っていますか？湯前小学校の運動会で作られている杉門のことを。どのようにして作られ、そこにはどんな思いが込められているのでしょうか？今回、その現場に密着しました。

かつての伝統が復活

10月2日、湯前小の運動会。私は児童が元気いっぱいに楽しむ姿を撮影していました。その日、グラウンドで一番の存在を放っていた「杉門」。運動会の一週間前に保護者の人から「湯前小の運動会の入退場門は手作りの杉門だよ」と教えてもらいました。

杉門は人吉・球磨地方の伝統で、たくさんの学校の運動会で建てられていました。現在、ほとんど姿を見ることはなく、郡市内で残っているのは湯前小を含めた3校のみ。そのうち、錦町の一武小学校とは、杉門のアドバイスをもらったりして交流をしています。湯前小も最近までは木でできた一般的な入退場門でしたが、3年前、学校創立70周年記念の運動会から復活。その年、児童たちは初めて見る杉門に驚き、祖父母には「なつかしか」と好評だったため、ことしも続けられています。

健やかな成長を願う

杉の語源は「成長が早く、ゝ、



トラックいっぱい枝を積み込んだ

まっすぐに伸び、長生きする」。杉門には、子どもたちにもまっすぐ育ってほしいという保護者の願いが込められています。林業が盛んなこの地域ならではの取り組みに、さらに興味が深まったので、私もお手伝いさせてもらいました。

杉門作りは木を切ることから始まります。ことしは湯前と水上村の境にある山の中へ大きなトラック2台と軽トラック1台が入りました。前日まで降った雨で、タイヤがぬかるみにはまってしまい、なかなか前に進めません。偶然通りかかった業者の人が手伝ってくれて、なんとか目的地にたどり着きました。

わらをはがしていきました。杉門が裸になった時間はわずか3分。「完成まであんなに時間かかったのに」と思いながら杉門をトラックに載せました。

湯前小PTA会長の藤岡教顕さん（42㉥上里3）は「子どもたちが運動会で頑張っているという思いを込めて杉切りから参加しました。町の人たちも子どもたちのために協力してくれました。健やかに成長してほしいという保護者や地域の皆さんの思いが子どもたちに届くことを願っています」と話していました。

たった1日の姿でしたが、杉門はみんなの記憶や心に残るものでした。親の温かい思いが子どもたちのすばらしい演技につながっていました。児童には卒業しても「小学校の運動会では、杉門があつてゝ」とたくさんの人に自慢してほしいものですね。

特集② 運動会の杉門に込められた思い（完）――



6 杉門に見守られて立派な組み体操を披露した5、6年生
7 作るときは大変だが、片付けられるときびしさがこみ上げてきた



6

7

保健師だより

青いライトはどんな意味??

11月は、各地で糖尿病予防活動周知のための、ブルーライトアップが行われます。

人吉球磨糖尿病予防フォーラム実行委員会では、昨年に引き続き11月の1カ月間、人吉球磨地域内の建造物をブルーにライトアップする活動に取り組めます。糖尿病の正しい知識を啓発する世界糖尿病デー（11月14日）に合わせて行う活動で、世界各地で平成19年から行われています。郡市内でも平成26年度から取り組まれ、昨年度も7カ所の医療機関（人吉医療センター、公立多良木病院、球磨病院、堤病院、緒方医院、岩井クリニック、外山胃腸病院）に協力していただきました。



無料 自分の「HbA1c」知っていますか？

11月13日（日）ゆのまえ漫画フェスタでHbA1cを測定できます。

ゆのまえ漫画フェスタでは「健康福祉環境コーナー」で、無料の測定ができます。10分ほどで終わります。

測定後には、保健師や看護師など、専門のスタッフがご相談に応じます。たくさんのご来場お待ちしております。



湯前町では、このHbA1cが高めの人が多いことが分かっています。放置すると糖尿病になる人もいます。自分は血糖値が高くなりやすいのかを知るため、特に普段あまり健診を受けていない人はこのHbA1cだけでもこの機会に測定してみませんか？自分の体を知るチャンスですよ♪

☆「健康福祉環境コーナー」では、食生活改善推進員による塩分測定を行います。自宅のお味噌汁を少量持参していただければ簡単に測定できますので、ぜひお越しください。

〈湯前町保健センター 文責 野々原〉

編集後記

editorial note

▼今回は高校や益城町の仮設住宅へ取材に行ってきました。ブルーシートがかかったままの家やずらつと並ぶ仮設住宅を見て、復興への道のりの険しさを感じました。湯前産の木材に高校生の思いをのせて県内各地に元気を届けられたことは、木材が豊富な湯前ならではの支援です。一人一人、何ができるのか考えて動くことで復興への歩みを支えていくことができるのではないのでしょうか。

▼空き家を使った漫画教室や那須良輔風刺漫画大賞の発表など湯前にとつて「漫画の季節」が到来。漫画家が漫画の描き方を教えてくれたり、授業で漫画を習ったりするのは私たちの町の自慢です。風刺漫画大賞では町の子どもたちが大人顔負けの表現と画力で漫画を作成。漫画「ワンピース」のラッピング列車や原画展、11月には漫画フェスタなど、漫画を楽しむイベントが盛りだくさん！漫画フェスタにはコスプレをして参加してみたいか？（笑）



【今月の表紙】

慈光こども園運動会では毎年園児たちによる体操が披露されます。側転、前転、跳び箱、大人顔負けの演舞を披露する園児たち。「来てくれた人に元気を届けたい」。精一杯の頑張りで、園児たちは会場の一人一人に元気を届けていました。

—湯前町青年団だより—

団長 瀧森 道太
2016 VOL.10

がまだすっ！



青年団の話題

8・9月のわだいを紹介します

8/27・28 第58回 熊本県総合青年祭文化の部
第52回 球青協文化祭（あさぎり町須恵文化ホール）



■総合順位 5位
主な成績 舞踊 2位
青年団グッズ（展示の部）2位
優勝を逃した悔しさもありますが、楽しく充実した2日間でした。
冬には駅伝もありますので、そこで良い成績が残せるよう頑張ります！
応援してくださった皆さんありがとうございました♪

9/10 大交流会



湯〜とびあに7町村50人を超える団員が集まり、交流を深めることができました。これから団員同士協力して人吉球磨・熊本を盛り上げていきたいです！

9/25 熊本県総合青年祭
体育の部 ※フットサルに出場



9/17 観月祭
バザー出店

青年団情報

NEW INFORMATION
YUNOMAE SEINENDAN

11月3日（木・祝） 湯前町民文化祭
（舞踊・バザー出店）

11月13日（日） ゆのまえ漫画フェスタ
（バザー出店）

企画部長
なと 椎葉 直斗（25=田上）

「大交流会では球磨郡の青年団がたくさん集まってくれました！地域の皆さん、ご協力ご理解ありがとうございました。企画部は自由に事業を企画することができます。これから、いろんな企画を考えて、みんなが気軽に参加できる雰囲気をつくっていききたいです！」



戸籍の窓

たんじょう

おめでとう（うぶごえ）

なた 中田 綺羅 保護者名 潔裕（上染田）

ご冥福をお祈りします

兼田 トミ子（上里2）

堤田 豊（下染田）

藤本 ケイ子（馬場）

香典返し

兼田 覺（上里2）



平成28年9月1日～平成28年9月31日



ONE PIECE
熊本復興プロジェクト

高森町-湯前町



湯前町

イベントスケジュール

2016
10/29 湯前町ONE PIECE
スタンプラリー開始!

- 開催期間 10月29日(土)~2月28日(火)まで
- ※景品がなくなり次第終了
- スタンプラリー拠点 / 湯前まんが美術館

2016
10/29 くま川鉄道 復興列車運行開始!

- 期間 / 10月29日(土)~2月26日(日)
- ※土、日、祝日のみ運行

2016
10/29 くま川鉄道 復興列車出発式

- 日時 / 10月29日(土) 12:10~
- 場所 / 湯前駅レールウイング

2016
11/13 2016ゆのまえ漫画フェスタ

- 日時 / 11月13日(日)
- 場所 / 湯前まんが美術館周辺一帯



ONE PIECE 復興列車運行!!

ONE PIECEラッピング列車がローカル鉄道2路線で運行します。ルフィの車内アナウンスは必聴!

※詳細は各社HPにてご確認ください

くま川鉄道 <http://www.kumagawa-rail.com/>

南阿蘇鉄道 <http://www.mt-torokko.com/>

乗車記念
ポストカード
プレゼント!



高森町役場政策推進課 TEL.0967-62-1111 湯前まんが美術館 TEL.0966-43-2050 湯前町役場産業振興課 TEL.0966-43-4111

※10月29日のくま川鉄道復興列車出発式は終了しました。

※湯前まんが美術館・高森町湧水館では、ワンピースのイラストや台本、フィギュアなどを展示しています。(1月末まで。期間中は入館無料)



※ご意見投稿はこちらから

活き活きと輝き、誇れるまちゆのまえ

広報ゆのまえ11月号

TEL 0966-43-4111 FAX 0966-43-3013
URL <http://www.town.yunomae.lg.jp/>